

県立大生が石州瓦販促策 浜田 業者訪ね課題分析

学習成果を報告する学生＝浜田市野原町、県立大浜田キャンパス



紙面編集・安部 享雄

県立大地域政策学部の1年生12人が27日、浜田市野原町の同大浜田キャンパスで、市内の石州瓦製造販売業者の経営を調べた学習成果を報告した。会員制交流サイト（SNS）を活用した情報発信の強化など、課題解決策を提案した。

久保田典男教授が担当する授業の一環。昨年10月に亀谷窯業（浜田市長沢町、亀谷典生社長）を訪ねて経営について聞き、課題を分析して解決策をまとめた。

「戦略」「マーケティング」「マネジメント」の三つの視点で分析。情報発

た。

報告を聞いた亀谷社長は、学生の情報収集が新型コロナウイルス禍で主にインターネットに頼った点には理解を示しつつ、海外への商品販売で予想と異なる反応だった経験を引き合いに、現場の声を聞く大切さを伝えた。地方の企業

は地域との関わりが強いことがメリットだとも説いた。

授業を受けた大橋世偉さん(19)は「地域とのつながりを大事にした取り組みを考える必要があると感じた」と話した。

(青山和佳乃)

